

社会を先導し、イノベーションを目指す 未来社会を創造していく組織・運営

ディスティンクイッシュト プロフェッサー 2011 WEBサイト公開

2012年3月、東北大学ディスティンクイッシュト プロフェッサー 2011のWEBサイトが公開された。

ディスティンクイッシュト プロフェッサー制度とは、教育、研究、社会貢献などの分野において先導的な役割を担う教授に対し、その活動をサポートする制度である。優秀な教員に対する東北大学の姿勢を世界に示すことで、大学の認知度向上を図るとともに、人材確保にも繋げることを目的とする。

本制度により2011年度は各分野におけるトップレベルの卓越した専門知識に基づき極めて高い業績を挙げている17名が任命された。WEBサイトではそれぞれの研究内容やメッセージを紹介している。

■東北大学ディスティンクイッシュト プロフェッサー 2011のWEBサイト
<http://web.bureau.tohoku.ac.jp/koho/dp/>



東北大学原子分子材料科学高等研究機構 (AIMR) が本館竣工記念式典を挙行



外壁は旧東北帝国大学工学部金属工学教室のすだれレンガを壊さず保存し、建物内部はガラスを用いた現代的な仕上げになっている。さらに研究者同士の活発な交流を促進するためのスペースも設けられている。

東北大学原子分子材料科学高等研究機構 (AIMR) は、2011年12月7日にAIMR本館の竣工記念式典を挙行了。

AIMR本館は、平成21年度補正予算により建設され、東日本大震災にもかかわらず関係者の努力によりわずか4カ月の遅れで竣工した。これによりAIMRの研究者が片平キャンパスに結集することになり、新しい材料科学確立のため従来以上の融合研究を推進することが期待される。

式典では、山本嘉則機構長の司会のもと、井上明久総長の挨拶に始まり、阿部博之元総長、戸渡速志文部科学省大臣官房審議官、黒木登志夫WPIプログラムディレクターから祝辞があった。式典後の交流会では西澤潤一元総長、長田義仁WPIプログラムオフィサーからの祝辞の後、内外の研究者が交流を深めた。

※役職は当時のものです。



「グローバルCOEプログラム」の採択数12件

「グローバルCOEプログラム」は、世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、国際競争力のある大学づくりを推進することを目的として、文部科学省において実施されている事業である。

採択にあたっては、世界最高水準の優れた研究基盤や独創的・画期的な研究基盤を前提に、人材育成の機能を持つ教育拠点としての発展性などが審査される。

本学においては2007年度、2008年度あわせて8分野12件が採択されている。

- 脳神経科学を社会へ還元する教育研究拠点
- 分子系高次構造体化学国際教育研究拠点
- 材料インテグレーション国際教育研究拠点
- 情報エレクトロニクスシステム教育研究拠点
- 新世紀世界の成長焦点に築くナノ医学拠点
- Network Medicine創生拠点
- 物質階層を紡ぐ科学フロンティアの新展開
- 変動地球惑星学の統合教育研究拠点
- 流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点
- 社会階層と不平等教育研究拠点の世界的展開
- グローバル時代の男女共同参画と多文化共生
- 環境激変への生態系適応に向けた教育研究

附属図書館創立100周年

東北大学附属図書館は、2011年6月14日に創立100周年を迎えた。東北帝国大学が設置された1907年から4年後の1911年6月、附属図書館は現在の片平キャンパスに設置された。

その後、医学分館が1915年、農学分館が1974年、工学分館が1978年、北青葉山分館が1982年にそれぞれ設置され、現在に至る。

この創立100周年を記念して、様々な企画イベントが開催され賑わいを見せ、附属図書館が利用者にとってますます身近な存在となった。また、図書館は、「国宝」2点、江戸学の宝庫として有名な「狩野文庫」、夏目漱石の旧蔵書・自筆資料を含む「漱石文庫」など、歴史的に貴重な資料を多数所蔵しており、インターネットも通じて広く一般に公開している。



創立100周年を記念した様々な企画イベント

○2011年6月14日／

100周年記念日イベント開催・100回目の誕生日に贈る「図書館へのメッセージ」

利用者の方に図書館への想い、希望などを書いてもらうイベントを開催。メッセージを書いていただいた利用者の方、本を借りた利用者の方へ百周年記念グッズを進呈した。

○2011年10月15日／記念式典及び記念講演会「科学と人間の未来、そして物語の力」

記念式典の中では、附属図書館の新たなコレクションとなる、チャールズ・ダーウィン『種の起源』初版本の贈呈式も行われた。『種の起源』初版本は東北大学名誉教授の岡本宏氏が1997年にニューヨークのボーマン書店で見つけたもので、今回若い学生の育成を願い寄贈された。

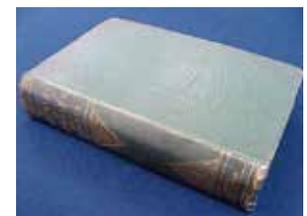
記念講演会では最新の科学知識をとりこみつつ、人間の未来に希望をあたえる物語を描き続けている瀨名秀明氏が講演。「科学と人間の未来」そして「物語の力」について語りながら、この未曾有の災害の中、これから科学とどのように向き合っていくのかを考える機会を提供した。

○2011年10月7日～11月5日／記念企画展「煌めきのコレクション～未来への贈り物～」

戦災や震災から守り抜いた貴重なコレクションの数々を展示

○2011年10月30日／記念講演会「江戸時代の日本は「帝国」だったーヨーロッパの見た日本ー」

講演者：平川新氏（東北大学東北アジア研究センター教授）



修復作業を終えた「種の起源」初版本

TOPICS

学術論文引用数ランキング「材料科学分野」で世界第3位

専門家向けの高度な情報を提供する世界的なリーディングカンパニー、トムソン・ロイターが論文の引用動向から見る日本の研究機関ランキングを発表した。東北大学は、昨年に引き続き、材料科学分野で世界3位（国内順位1位）、物理学分野で世界12位（国内2位）、さらに他分野も高い順位にランキングされている。これらのことから、同大学がきわめて高レベルな実績をあげている研究機関として、世界から注目されていることが分かる。

世界第3位（国内第1位）◎材料科学

世界第12位（国内第2位）◎物理学

世界第20位（国内第6位）◎化学

世界第109位（国内第9位）◎生物学・生化学

世界第135位（国内第8位）◎免疫学

対象期間：2002年1月1日～2012年4月30日（10年間）